

6月は食育月間

食に親しみ、食を楽しもう

食育は、生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるものであり、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実現することができる人間を育てることです。

皆さんもできることから取り組んでみてはいかがでしょうか。

食育を分かりやすく発信 「食育ピクトグラム」

国は、食育を分かりやすく知ってもらうため、絵文字で表現した食育ピクトグラムを作成しています。

食品などの商品の包装、ポスター、リーフレット、店頭のPOP、書籍、名刺などにお使いください。



朝食の摂取は、健康的な生活習慣につながります。



SDGsの目標である持続可能な社会を達成するため、環境に配慮した農林水産物・食品を購入したり、食品ロスの削減を進めたりします。



生涯にわたって心も身体も健康で、質の高い生活を送るために「食」について考え、食育の取組を応援します。

食育アンケートにご協力ください

市では、第4次勝山市食育推進計画（計画期間5年）を令和4年度に策定するために、市民1,400人を対象にした食育アンケートを実施します。

アンケートが届いた方はご協力をよろしくお願いします。

圃農林政策課(市役所1階) ☎88-8106



多くの人が、ごみをゼロにする運動に参加したらいいと思います。僕も将来、ごみをゼロにする運動に参加したいです。

成器南小学校の給食委員長
三田村 亮太さん

つくる責任 つかう責任
SDGsの目標「12は、つくる責任、つかう責任」です。食品ロスは生産、加工、調理、食事など様々な段階で発生しています。食品ロスの削減には、事業者や自治体などが協力して取り組んだり、家庭での少しの行動が重要となります。

食品ロスの現状を知ったとき、私たちにできることは…。
自分の身近なところから食品ロスについて考えてみてください。



市内の各小学校では、給食時間を利用した栄養指導や、数か月に1度の石塚左玄給食（*）、農業体験などを通して「食育」が行われています。

*食育の大切さを日本に広めた福井県出身の偉人の訓え「一物全体食」を取り入れ、皮つき食材の調理や玄米など、食材を丸ごと食べる給食

5月30日に合わせ
食品ロスを学ぶ
5月30日は、語呂合わせで「ごみゼロ」の日ということで、市内の各

もったいない MOTTAINAI 食への「感謝」



学校では、栄養教諭などによる「食品ロス」についての食育が行われています。

食べられるのに捨てられている食品ロスの話を始め、日本のもったいないの心を世界に「MOTTAINAI」として広めたワンガリ・マータイさんの紹介、給食を最後まで食べきる方法などの話があり、児童たちは、食品ロスの現状を学びながら、感謝の気持ちを持って給食を美味しくすくに食べきっていました。



食べ物を捨てる
それは
「心も捨てる」こと

「食べ物を捨てることは、野菜を作ってくれた人、給食を作ってくれた人みんなの心や苦勞を捨てることです」と栄養教諭の村田先生は話されていました。

栄養教諭
村田 佳織さん